



医療と薬のつき合い方



高齢化の進展などにより、医療費や薬代は増加傾向にあります。医療費が増えると、皆さんの家計が圧迫されるだけでなく、国民健康保険制度の安定した保険医療の確保も難しくなってまいります。医療費を節約するためにも、医療の受け方や薬との付き合い方を見直し、医療費の節約に努めましょう。

医療費を節約するためには？

医療機関との上手な付き合い方



1. かかりつけ医を持ちましょう

紹介状がないまま大きな病院にかかると、初診料とは別に特別料金が追加されます。まずは、日常的な病気の治療や相談などに応じてもらえる「かかりつけ医」を受診し、必要に応じて紹介状を書いてもらいましょう。

2. 重複受診はやめましょう

同じ病気で複数の医療機関にかかると、同じ検査や処置を再度行うことになります。また、薬によるトラブルを招いたりする可能性もあります。診療内容や治療方針に関する疑問や不安がある場合、納得のいくまでかかりつけの医師に相談しましょう。

3. 時間外受診を避けましょう

時間外や休日に受診すると、本来の診療費とは別に割増料金が加算されます。緊急時以外は診療時間内にお医者さんにかかりましょう。

薬との上手な付き合い方



1. 重複処方・多剤服薬に注意しましょう

重複処方とは、複数の医療機関にかかっている場合に、同じ効能の薬が重複して処方されていることです。多剤服薬とは、多くの種類のお薬が処方され、服薬することです。多剤服薬の中でも副作用など害をなすものを「ポリファーマシー」と呼び、薬の種類が増えるほど副作用の危険性が高くなると言われています。重複処方、ポリファーマシーを防ぐため、「お薬手帳」の活用や、かかりつけ薬局で薬の重複や飲み合わせをチェックしてもらいましょう。

2. ジェネリック医薬品を活用しましょう

ジェネリック医薬品は、新薬の特許期間を過ぎたあと新薬と同じ有効成分で製造した薬のことです。開発費が抑えられているため新薬より安価な薬です。自己負担を減らすとともに、医療費の節約にもつながります。

お薬手帳の活用方法

- ・お薬手帳を1人1冊にまとめることによって、薬の重複や飲み合わせのチェックができます。
- ・災害や旅行時の急変に備えて常に携帯しているといざという時に安心です。



☎ 保険年金課 特定健康担当 ☎(55)7119 FAX(26)5515

新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口・受診方法について

<相談・受診方法>

1. 発熱などの症状が生じた場合は、まずは、かかりつけ医などの地域で身近な医療機関に電話でご相談ください。
2. かかりつけ医などを持たない場合や相談する医療機関に迷う場合は、「健康フォローアップセンター」もしくは「救急医療情報センター」へ電話でご相談ください。

●健康フォローアップセンター(受診・相談窓口) ●救急医療情報センター(24時間)

愛知県 津島保健所	☎(24)6999	夜間・休日 相談窓口	☎052(526)5887	津島市	☎(26)1133
開設時間	平日:午前9時～ 午後5時30分	開設時間	平日夜間:午後5時30分～翌午前9時 土・日曜日、祝日:24時間体制	県	☎052(263)1133

3. 1または2で案内された「診療・検査医療機関」に電話連絡し、医療機関の指示に従って受診してください。
*「感染しない、感染させない」ため、日頃から3つの密が発生する場所を徹底して避けるとともに、マスクの着用、手洗い、消毒など基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。